



2024年4月5日

日本鉄道労働組合連合会

## 台湾鐵路工会友好訪日団との意見交換を実施

JR連合は、3月25日～30日の日程で、陳世杰理事長ほか4名の台湾鐵路工会(台湾鉄道労働組合)友好訪日団の訪問を受け、意見交換を実施した。

台湾鐵路工会との交流は、国際連帯活動の一環として、1993年に「日華鉄道労働者人物交流に関する協定」を締結して以来実施されており、隔年で相互交流を行ってきた。コロナ禍で一時的に中断していたものの、2023年6月にJR連合から第15次友好訪日団を派遣し、本年は台湾鐵路工会からの友好訪日団を受け入れるに至った。

台湾鐵路工会は、台湾鐵路管理局(台湾国鉄)の労働組合であり、台湾国鉄が本年1月1日に国有民営化(会社化)されるのに伴い、労働条件を維持するための様々な交渉を行ってきた。これまでのJR連合との交流の中で、日本での国鉄分割民営化における成果や課題について共有を図ってきたところである。

今回の訪日では、国有民営化に伴い、ほとんどの労働条件が維持されることや、台湾国鉄が保有していた土地が新会社に引き継がれること、労働者の福利厚生のために23億台湾ドルが国から支給されることなど、様々な成果を勝ち取ったことについて報告を受けた。

台湾訪日団は、JR連合のほか、JR東海ユニオン中央本部、JR西労組中央本部及び金沢地方本部、JR九州労組中央本部の各事務所を巡り、各地で有意義な意見交換を行った。

JR連合は、引き続き、台湾鐵路工会と諸課題に対する意見交換を交わしつつ、友好関係を築き上げていく。



## 台湾東部沖を震源とする地震が発生

台湾鐵路工会友好訪日団が帰国後間もない4月3日、台湾東部沖を震源とするマグニチュード7.7の巨大地震が台湾全土を襲った。被害に遭った皆様に心からお見舞いを申し上げます。

震源から近い花蓮市では、最大震度6強を記録し、巨石が線路上に崩落するなど、鉄道設備にも多くの被害が発生している。復旧工事にあたる台湾鐵路工会の皆様のご無事と、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

